

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 大阪府

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	大阪府立病院機構	2	阪南市	阪南市民病院	20
大阪市	総合医療センター	3			
大阪市	十三市民病院	4			
堺市	堺病院	5			
岸和田市	岸和田市民病院	6			
豊中市	市立豊中病院	7			
池田市	市立池田病院	8			
吹田市	吹田市民病院	9			
泉大津市	市立病院	10			
貝塚市	貝塚病院	11			
枚方市	市立ひらかた病院	12			
八尾市	市立病院	13			
泉佐野市	泉佐野病院	14			
和泉市	市立病院	15			
箕面市	市立病院	16			
柏原市	市立柏原病院	17			
藤井寺市	市立藤井寺市民病院	18			
東大阪市	総合病院	19			

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名			
病院名	大阪府立病院機構		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	8,837,685	
決算規模(千円)	3,733,514,735	
標準財政規模(千円)	1,598,008,610	
財政力指数	0.79157	
経常収支比率(%)	100.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.7
	将来負担比率(%)	153.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	56,870			
1 経常収益	56,870			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	56,870			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	56,870			
2 経常費用	56,870			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	56,870			
(うち支払利息)	56,870	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	大阪市		
病院名	総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,752,412	
決算規模(千円)	2,014,653,275	
標準財政規模(千円)	864,930,635	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.7
	将来負担比率(%)	5.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	385,337			
1 経常収益	385,337			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	385,337			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	385,337			
2 経常費用	385,337			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	385,337			
(うち支払利息)	385,337	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	11,746,596			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	大阪市		
病院名	十三市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,752,412	
決算規模(千円)	2,014,653,275	
標準財政規模(千円)	864,930,635	
財政力指数	0.94	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.7
	将来負担比率(%)	5.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	141,517			
1 経常収益	141,517			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	141,517			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	141,517			
2 経常費用	141,517			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	-	-	9.5	10.2
経費	-	-	22.7	28.2
(うち委託料)	-	-	12.6	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	141,517			
(うち支払利息)	141,517	-	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	6,858,926			
経常収支比率	100.0		101.9	99.9
医業収支比率	-		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	86.6

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	堺市		
病院名	堺病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	826,161	
決算規模(千円)	507,566,565	
標準財政規模(千円)	224,924,396	
財政力指数	0.81	
経常収支比率(%)	100.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.8
	将来負担比率(%)	5.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	170,857			
2 経常費用	170,857			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	59.8
材料費	-	-	25.3	27.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4
減価償却費	-	-	9.5	8.2
経費	-	-	22.7	19.2
(うち委託料)	-	-	12.6	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	170,857			
(うち支払利息)	170,857	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-170,857			
純損益	-170,857			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		101.9	103.7
医業収支比率	-		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	-		89.3	93.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	岸和田市				
病院名	岸和田市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,575 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	400	66.3	76.4	79.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	66.3	76.4	79.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	11.1	10.9

設立団体の状況		
人口(人)	190,658	
決算規模(千円)	96,799,953	
標準財政規模(千円)	43,061,885	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	11.6

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.8
修正医業収益(千円)	11,198,481

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,577,790			
1 経常収益	14,576,600			
(1) 医業収益	11,427,077			
入院収益	6,654,495			
外来収益	4,377,085			
診療収入計	11,031,580			
その他医業収益	395,497			
(うち他会計負担金)	228,596			
(2) 医業外収益	3,149,523			
(うち国・都道府県補助金)	2,153,490			
(うち他会計補助・負担金)	823,448			
(うち長期前受金戻入)	13,713			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,190			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,606,200			
2 経常費用	13,594,616			
(1) 医業費用	12,754,440			
職員給与費	6,424,441	56.2	62.1	59.8
材料費	3,515,969	30.8	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,909,941	16.7	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,534,883	13.4	11.4	12.4
減価償却費	655,982	5.7	9.5	8.2
経費	2,102,898	18.4	22.7	19.2
(うち委託料)	1,426,332	12.5	12.6	10.2
研究研修費	35,664			
資産減耗費	19,486			
(2) 医業外費用	840,176			
(うち支払利息)	219,407	1.9	1.3	1.2
(3) 特別損失	11,584			
損益				
経常損益	981,984			
純損益	971,590			
累積欠損金	3,505,879			
経常収支比率	107.2		101.9	103.7
医業収支比率	89.6		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.2		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	7.2		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	99.5		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,212,005
1 固定資産	14,191,315
(1) 有形固定資産	14,049,493
(2) 無形固定資産	1,108
(3) 投資その他の資産	140,714
2 流動資産	3,020,690
(1) 現金及び預金	341,349
(2) 未収金及び未収収益	2,567,573
(3) 貸倒引当金( )	97
(4) 貯蔵品	111,865
3 繰延資産	-
負債合計	12,940,445
1 固定負債	9,475,567
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,009,789
(2) その他の企業債	1,343,800
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,105,261
(7) リース債務	16,717
2 流動負債	3,112,892
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,455,598
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	375,338
(6) リース債務	5,542
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,276,414
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	351,986
(1) 長期前受金	468,448
(2) 長期前受金収益化累計額( )	116,462
資本合計	4,271,560
1 資本金	7,678,065
2 剰余金	-3,406,505
(1) 資本金剰余金	99,374
(2) 利益剰余金	-3,505,879
負債・資本合計	17,212,005
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,578,853	1,052,044
資本勘定繰入	682,487	350,000
計	2,261,340	1,402,044

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	548,064	4.3
平成30年度	151,488	1.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				大阪府
市町村・組合名	豊中市			
病院名	市立豊中病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透   未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	67,544 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が感地輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	500床以上	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	599	63.1	82.3	85.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	14	1.8	4.0	-
計	613	61.7	80.5	83.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	10.4	11.0

設立団体の状況		
人口(人)	401,558	
決算規模(千円)	199,392,263	
標準財政規模(千円)	86,710,821	
財政力指数	0.91	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	20,456,622			
1 経常収益	20,456,622			
(1) 医業収益	14,983,627			
入院収益	9,680,228			
外来収益	4,614,962			
診療収入計	14,295,190			
その他医業収益	688,437			
(うち他会計負担金)	443,584			
(2) 医業外収益	5,472,995			
(うち国・都道府県補助金)	3,894,018			
(うち他会計補助・負担金)	970,317			
(うち長期前受金戻入)	478,651			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,715,557			
2 経常費用	19,715,557			
(1) 医業費用	18,694,471			
職員給与費	9,875,327	65.9	62.1	55.8
材料費	4,389,919	29.3	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,441,195	16.3	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,837,938	12.3	11.4	13.0
減価償却費	1,240,533	8.3	9.5	8.7
経費	3,093,038	20.6	22.7	19.7
(うち委託料)	1,868,575	12.5	12.6	12.6
研究研修費	30,228			
資産減耗費	65,426			
(2) 医業外費用	1,021,086			
(うち支払利息)	184,563	1.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	741,065			
純損益	741,065			
累積欠損金	1,093,770			
経常収支比率	103.8		101.9	102.5
医業収支比率	80.2		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	6.9		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	96.6		89.3	93.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,784,682
1 固定資産	18,338,876
(1) 有形固定資産	18,260,082
(2) 無形固定資産	61,018
(3) 投資その他の資産	17,776
2 流動資産	9,445,806
(1) 現金及び預金	5,621,451
(2) 未収金及び未収収益	3,605,025
(3) 貸倒引当金( )	16,412
(4) 貯蔵品	203,713
3 繰延資産	-
負債合計	16,481,477
1 固定負債	9,594,640
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,806,493
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,788,147
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,150,544
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,555,268
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	649,981
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,849,592
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,736,293
(1) 長期前受金	6,019,894
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,283,601
資本合計	11,303,205
1 資本金	11,093,374
2 剰余金	209,831
(1) 資本金剰余金	1,303,601
(2) 利益剰余金	-1,093,770
負債・資本合計	27,784,682
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.8
修正医業収益(千円)	14,540,043

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,375,253	1,413,901
資本勘定繰入	898,363	898,363
計	2,273,616	2,312,264

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	池田市				
病院名	市立池田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透   未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	39,005 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	364	81.6	91.5	90.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	364	81.6	91.5	90.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	10.7	10.9

設立団体の状況		
人口(人)	104,993	
決算規模(千円)	50,043,642	
標準財政規模(千円)	22,374,810	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,343,295			
1 経常収益	13,343,295			
(1) 医業収益	11,972,567			
入院収益	7,473,893			
外来収益	4,127,805			
診療収入計	11,601,698			
その他医業収益	370,869			
(うち他会計負担金)	80,531			
(2) 医業外収益	1,370,728			
(うち国・都道府県補助金)	1,139,796			
(うち他会計補助・負担金)	113,036			
(うち長期前受金戻入)	10,730			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,850,901			
2 経常費用	12,850,901			
(1) 医業費用	12,150,090			
職員給与費	6,037,783	50.4	62.1	63.5
材料費	3,397,747	28.4	25.3	24.9
(うち薬品費)	2,091,746	17.5	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,296,012	10.8	11.4	11.8
減価償却費	797,189	6.7	9.5	10.0
経費	1,885,333	15.7	22.7	21.7
(うち委託料)	1,332,142	11.1	12.6	12.2
研究研修費	28,809			
資産減耗費	3,229			
(2) 医業外費用	700,811			
(うち支払利息)	173,125	1.4	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	492,394			
純損益	492,394			
累積欠損金	17,668,574			
経常収支比率	103.8		101.9	101.7
医業収支比率	98.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	1.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	1.6		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	1.5		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	102.3		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,702,030
1 固定資産	13,338,234
(1) 有形固定資産	13,315,255
(2) 無形固定資産	21,179
(3) 投資その他の資産	1,800
2 流動資産	3,363,796
(1) 現金及び預金	890,083
(2) 未収金及び未収収益	2,447,689
(3) 貸倒引当金( )	11,395
(4) 貯蔵品	37,419
3 繰延資産	-
負債合計	11,420,646
1 固定負債	7,830,779
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,024,768
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,674,508
(7) リース債務	131,503
2 流動負債	3,390,969
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,308,642
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	294,568
(6) リース債務	21,934
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,699,287
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	198,898
(1) 長期前受金	299,014
(2) 長期前受金収益化累計額( )	100,116
資本合計	5,281,384
1 資本金	22,938,578
2 剰余金	-17,657,194
(1) 資本金剰余金	11,380
(2) 利益剰余金	-17,668,574
負債・資本合計	16,702,030
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	97.9
修正医業収益(千円)	11,892,036

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	561,815	193,567
資本勘定繰入	794,433	794,433
計	1,356,248	988,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	147.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	吹田市		
病院名	吹田市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	385,567	
決算規模(千円)	180,666,429	
標準財政規模(千円)	75,205,927	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	95.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-2.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	131,481			
1 経常収益	131,481			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	131,481			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	131,481			
2 経常費用	131,481			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	59.8
材料費	-	-	25.3	27.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4
減価償却費	-	-	9.5	8.2
経費	-	-	22.7	19.2
(うち委託料)	-	-	12.6	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	131,481			
(うち支払利息)	131,481	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	103.7
医業収支比率	-		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.1

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				大阪府
市町村・組合名	泉大津市			
病院名	市立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	19,313 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 輪	
許可公営企業	許可	看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	200床以上~300床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	230	49.9	63.9	70.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	230	49.9	63.9	70.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	10.2	10.5

設立団体の状況		
人口(人)	74,412	
決算規模(千円)	38,283,483	
標準財政規模(千円)	17,272,074	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	94.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	29.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.9
修正医業収益(千円)	3,975,948

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,536,286			
1 経常収益	5,578,045			
(1) 医業収益	4,162,949			
入院収益	2,103,022			
外来収益	1,534,616			
診療収入計	3,637,638			
その他医業収益	525,311			
(うち他会計負担金)	187,001			
(2) 医業外収益	1,415,096			
(うち国・都道府県補助金)	924,741			
(うち他会計補助・負担金)	433,346			
(うち長期前受金戻入)	7,055			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	958,241			
(うち他会計繰入金)	958,241			
総費用	5,992,205			
2 経常費用	5,972,526			
(1) 医業費用	5,687,621			
職員給与費	3,355,442	80.6	62.1	66.1
材料費	913,973	22.0	25.3	19.8
(うち薬品費)	546,632	13.1	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	366,945	8.8	11.4	9.3
減価償却費	278,363	6.7	9.5	10.2
経費	1,125,909	27.0	22.7	28.2
(うち委託料)	586,232	14.1	12.6	13.6
研究研修費	7,280			
資産減耗費	6,654			
(2) 医業外費用	284,905			
(うち支払利息)	80,075	1.9	1.3	1.6
(3) 特別損失	19,679			
損益				
経常損益	-394,481			
純損益	544,081			
累積欠損金	8,301,696			
経常収支比率	93.4		101.9	99.9
医業収支比率	73.2		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.9		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	24.2		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	83.0		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,992,963
1 固定資産	6,679,152
(1) 有形固定資産	6,646,556
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	32,596
2 流動資産	1,313,811
(1) 現金及び預金	238,635
(2) 未収金及び未収収益	1,063,813
(3) 貸倒引当金( )	781
(4) 貯蔵品	12,144
3 繰延資産	-
負債合計	7,491,366
1 固定負債	4,605,427
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,767,678
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	500,000
(6) 引当金	1,262,704
(7) リース債務	75,045
2 流動負債	2,634,125
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	447,803
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	50,000
(5) 引当金	207,131
(6) リース債務	29,434
(7) 一時借入金	1,400,000
(8) 未払金及び未払費用	472,583
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	251,814
(1) 長期前受金	348,524
(2) 長期前受金収益化累計額( )	96,710
資本合計	501,597
1 資本金	8,793,293
2 剰余金	-8,291,696
(1) 資本金剰余金	10,000
(2) 利益剰余金	-8,301,696
負債・資本合計	7,992,963
不良債務	872,511
実質資金不足額	872,511
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	620,347	1,578,588
資本勘定繰入	321,412	321,412
計	941,759	1,900,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	872,511	21.0
令和元年度	1,576,501	31.7
平成30年度	1,129,159	22.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	199.4
健全化法上の資金不足額(千円)	152,316
健全化法上の資金不足比率(%)	3.6
地財法上の資金不足額(千円)	872,511
地財法上の資金不足比率(%)	20.9

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				大阪府
市町村・組合名	貝塚市			
病院名	貝塚病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	21,079 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	18	指定病院の状況	救臨	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	200床以上~300床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	249	62.1	71.5	69.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	249	62.1	71.5	69.7
平均在院日数(一般病床のみ)		8.7	8.1	7.9

設立団体の状況		
人口(人)	84,443	
決算規模(千円)	43,700,427	
標準財政規模(千円)	18,720,072	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	21.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.2
修正医業収益(千円)	5,658,213

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,633,052			
1 経常収益	7,445,993			
(1) 医業収益	5,853,913			
入院収益	3,288,986			
外来収益	2,215,642			
診療収入計	5,504,628			
その他医業収益	349,285			
(うち他会計負担金)	195,700			
(2) 医業外収益	1,592,080			
(うち国・都道府県補助金)	894,722			
(うち他会計補助・負担金)	427,894			
(うち長期前受金戻入)	218,994			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	187,059			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,219,887			
2 経常費用	7,219,887			
(1) 医業費用	6,802,789			
職員給与費	3,957,351	67.6	62.1	66.1
材料費	1,422,038	24.3	25.3	19.8
(うち薬品費)	824,265	14.1	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	562,553	9.6	11.4	9.3
減価償却費	384,062	6.6	9.5	10.2
経費	978,124	16.7	22.7	28.2
(うち委託料)	631,141	10.8	12.6	13.6
研究研修費	11,033			
資産減耗費	50,181			
(2) 医業外費用	417,098			
(うち支払利息)	94,567	1.6	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	226,106			
純損益	413,165			
累積欠損金	2,853,048			
経常収支比率	103.1		101.9	99.9
医業収支比率	86.1		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.7		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	8.2		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	94.5		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,893,854
1 固定資産	5,203,840
(1) 有形固定資産	5,196,446
(2) 無形固定資産	3,344
(3) 投資その他の資産	4,050
2 流動資産	1,690,014
(1) 現金及び預金	422,865
(2) 未収金及び未収収益	1,259,599
(3) 貸倒引当金( )	43,652
(4) 貯蔵品	50,108
3 繰延資産	-
負債合計	7,609,062
1 固定負債	4,921,061
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,580,122
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	40,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,254,237
(7) リース債務	46,702
2 流動負債	2,373,842
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	602,621
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	10,000
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	234,073
(6) リース債務	34,476
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,468,073
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	314,159
(1) 長期前受金	3,353,405
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,039,246
資本合計	-715,208
1 資本金	1,328,761
2 剰余金	-2,043,969
(1) 資本金剰余金	809,079
(2) 利益剰余金	-2,853,048
負債・資本合計	6,893,854
不良債務	71,207
実質資金不足額	71,207
資金不足額( )	715,208
資本不足額(繰延収益控除後)( )	401,049
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	726,142	623,594
資本勘定繰入	356,406	356,406
計	1,082,548	980,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	71,207	1.2
令和元年度	377,898	5.8
平成30年度	335,055	5.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	48.7
健全化法上の資金不足額(千円)	60,015
健全化法上の資金不足比率(%)	1.0
地財法上の資金不足額(千円)	71,207
地財法上の資金不足比率(%)	1.2

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				大阪府
市町村・組合名	枚方市			
病院名	市立ひらかた病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 未 訓 力	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	31,824 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	24	指定病院の状況	救 臨 感 地 輪	
許可公営企業		看護配置	7 : 1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	300床以上～400床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一 般	327	69.8	78.6	78.0
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	8	56.2	5.5	0.6
計	335	69.4	76.9	76.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.3	9.5	9.8

設立団体の状況		
人 口(人)	397,289	
決 算 規 模(千円)	189,604,776	
標 準 財 政 規 模(千円)	79,524,793	
財 政 力 指 数	0.80	
経 常 収 支 比 率(%)	95.7	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.4
	将来負担比率(%)	-

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	11,284,583			
1 経 常 収 益	11,054,109			
(1) 医 業 収 益	8,263,313			
入 院 収 益	5,260,268			
外 来 収 益	2,315,541			
診 療 収 入 計	7,575,809			
そ の 他 医 業 収 益	687,504			
(うち他会計負担金)	381,549			
(2) 医 業 外 収 益	2,790,796			
(うち国・都道府県補助金)	1,479,746			
(うち他会計補助・負担金)	822,309			
(うち長期前受金戻入)	296,486			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	230,474			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	10,447,840			
2 経 常 費 用	10,444,987			
(1) 医 業 費 用	9,927,223			
職 員 給 与 費	5,150,108	62.3	62.1	63.5
材 料 費	1,790,345	21.7	25.3	24.9
(うち薬品費)	853,318	10.3	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	929,484	11.2	11.4	11.8
減 価 償 却 費	874,927	10.6	9.5	10.0
経 理 費	2,064,329	25.0	22.7	21.7
(うち委託料)	1,165,714	14.1	12.6	12.2
研 究 研 修 費	11,930			
資 産 減 耗 費	35,584			
(2) 医 業 外 費 用	517,764			
(うち支払利息)	116,388	1.4	1.3	1.4
(3) 特 別 損 失	2,853			
損 益				
経 常 損 益	609,122			
純 損 益	836,743			
累 積 欠 損 金	-			
経 常 収 支 比 率	105.8		101.9	101.7
医 業 収 支 比 率	83.2		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	14.6		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	10.7		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	94.3		89.3	90.0

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	14,480,027
1 固 定 資 産	10,222,447
(1) 有 形 固 定 資 産	10,192,892
(2) 無 形 固 定 資 産	1,476
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	28,079
2 流 動 資 産	4,257,580
(1) 現 金 及 び 預 金	2,371,062
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	1,764,604
(3) 貸 倒 引 当 金( )	846
(4) 貯 蔵 品	122,760
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	13,630,429
1 固 定 負 債	10,449,109
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,039,001
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 ( 特 例 債 含 む )	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	1,406,403
(7) リ ー ス 債 務	3,705
2 流 動 負 債	2,116,574
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	783,223
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	319,986
(6) リ ー ス 債 務	1,434
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	908,447
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	12,440
3 繰 延 収 益	1,064,746
(1) 長 期 前 受 金	2,292,176
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ( )	1,227,430
資 本 合 計	849,598
1 資 本 金	10,299
2 剰 余 金	839,299
(1) 資 本 剰 余 金	45,087
(2) 利 益 剰 余 金	794,212
負 債 ・ 資 本 合 計	14,480,027
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ( )	-
資本不足額(繰延収益控除後) ( )	-
備 考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.4
修正医業収益(千円)	7,881,764

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収益勘定繰入	1,203,858	1,203,858
資本勘定繰入	313,861	313,861
計	1,517,719	1,517,719

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額(千円)	不 良 債 務 比 率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				大阪府
市町村・組合名	八尾市			
病院名	市立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	40,470 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	21	指定病院の状況	救臨が地	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	300床以上~400床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	380	75.1	89.3	91.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	75.1	89.3	91.8
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	9.8	10.0

設立団体の状況		
人口(人)	264,642	
決算規模(千円)	134,196,878	
標準財政規模(千円)	58,505,580	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	100.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.1
	将来負担比率(%)	3.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.7
修正医業収益(千円)	11,928,260

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,877,535			
1 経常収益	14,832,556			
(1) 医業収益	12,198,050			
入院収益	7,677,082			
外来収益	3,944,295			
診療収入計	11,621,377			
その他医業収益	576,673			
(うち他会計負担金)	269,790			
(2) 医業外収益	2,634,506			
(うち国・都道府県補助金)	1,323,805			
(うち他会計補助・負担金)	718,557			
(うち長期前受金戻入)	439,210			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	44,979			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,010,627			
2 経常費用	14,992,333			
(1) 医業費用	14,075,216			
職員給与費	6,988,598	57.3	62.1	63.5
材料費	3,333,197	27.3	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,910,652	15.7	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,422,545	11.7	11.4	11.8
減価償却費	948,816	7.8	9.5	10.0
経費	2,698,323	22.1	22.7	21.7
(うち委託料)	2,251,439	18.5	12.6	12.2
研究研修費	24,565			
資産減耗費	81,717			
(2) 医業外費用	917,117			
(うち支払利息)	195,725	1.6	1.3	1.4
(3) 特別損失	18,294			
損益				
経常損益	-159,777			
純損益	-133,092			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.9		101.9	101.7
医業収支比率	86.7		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	6.7		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	6.6		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	92.3		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,699,085
1 固定資産	14,075,959
(1) 有形固定資産	13,936,775
(2) 無形固定資産	142
(3) 投資その他の資産	139,042
2 流動資産	7,623,126
(1) 現金及び預金	5,115,977
(2) 未収金及び未収収益	2,442,008
(3) 貸倒引当金( )	3,382
(4) 貯蔵品	59,664
3 繰延資産	-
負債合計	18,246,235
1 固定負債	13,046,192
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,062,817
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,876,772
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,953,469
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,311,302
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	518,816
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,058,123
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,246,574
(1) 長期前受金	5,133,845
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,887,271
資本合計	3,452,850
1 資本金	2,597,286
2 剰余金	855,564
(1) 資本金剰余金	18,025
(2) 利益剰余金	837,539
負債・資本合計	21,699,085
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,006,447	988,347
資本勘定繰入	926,721	835,949
計	1,933,168	1,824,296

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	泉佐野市		
病院名	泉佐野病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	100,131	
決算規模(千円)	68,063,997	
標準財政規模(千円)	23,556,856	
財政力指数	0.95	
経常収支比率(%)	109.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	83.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	180,931			
1 経常収益	180,931			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	180,931			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	180,931			
2 経常費用	180,931			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	-	-	9.5	10.0
経費	-	-	22.7	21.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.2
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	180,931			
(うち支払利息)	180,931	-	1.3	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	101.7
医業収支比率	-		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				大阪府
市町村・組合名	和泉市			
病院名	市立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I 訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	32,493 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が 輪	
許可公営企業	許可	看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)	
		類似区分	300床以上~400床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	307	96.2	100.7	97.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	307	96.2	100.7	97.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	11.4	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	184,495	
決算規模(千円)	87,019,284	
標準財政規模(千円)	35,567,312	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	96.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.0
修正医業収益(千円)	22,232

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,956,147			
1 経常収益	654,532			
(1) 医業収益	221,607			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	221,607			
(うち他会計負担金)	199,375			
(2) 医業外収益	432,925			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	88,734			
(うち長期前受金戻入)	258,614			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,301,615			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,552,687			
2 経常費用	2,358,767			
(1) 医業費用	2,194,029			
職員給与費	-	-	62.1	63.5
材料費	-	-	25.3	24.9
(うち薬品費)	-	-	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	11.8
減価償却費	908,412	409.9	9.5	10.0
経費	264,109	119.2	22.7	21.7
(うち委託料)	26,834	12.1	12.6	12.2
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	1,021,508	-	-	-
(2) 医業外費用	164,738	-	-	-
(うち支払利息)	94,741	42.8	1.3	1.4
(3) 特別損失	1,193,920	-	-	-
損益				
経常損益	-1,704,235			
純損益	-1,596,540			
累積欠損金	12,825,845			
経常収支比率	27.7		101.9	101.7
医業収支比率	10.1		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	44.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	130.0		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	14.7		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	15.5		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,876,208
1 固定資産	12,766,787
(1) 有形固定資産	12,761,098
(2) 無形固定資産	5,689
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	109,421
(1) 現金及び預金	36,992
(2) 未収金及び未収収益	72,429
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	15,060,310
1 固定負債	13,858,508
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,183,933
(2) その他の企業債	674,575
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,004,273
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	865,982
(2) その他の企業債	29,025
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	105,837
(9) 前受金及び前受収益	658
3 繰延収益	197,529
(1) 長期前受金	805,269
(2) 長期前受金収益化累計額( )	607,740
資本合計	-2,184,102
1 資本金	8,417,265
2 剰余金	-10,601,367
(1) 資本金剰余金	2,224,478
(2) 利益剰余金	-12,825,845
負債・資本合計	12,876,208
不良債務	28,870
実質資金不足額	28,870
資本不足額( )	2,184,102
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,986,573
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	276,156	288,109
資本勘定繰入	437,992	492,805
計	714,148	780,914

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	28,870	13.0
令和元年度	909	0.4
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5787.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	703,445
地財法上の資金不足比率(%)	317.4

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				大阪府
市町村・組合名	箕面市			
病院名	市立病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	34,067 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	26	指定病院の状況	救臨 地 輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	300床以上~400床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	317	71.0	86.2	88.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	317	71.0	86.2	88.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.3	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	136,868	
決算規模(千円)	88,430,704	
標準財政規模(千円)	27,731,894	
財政力指数	0.95	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.0
	将来負担比率(%)	4.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.4
修正医業収益(千円)	7,753,942

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,575,817			
1 経常収益	9,575,817			
(1) 医業収益	7,763,086			
入院収益	5,119,574			
外来収益	2,450,296			
診療収入計	7,569,870			
その他医業収益	193,216			
(うち他会計負担金)	9,144			
(2) 医業外収益	1,812,731			
(うち国・都道府県補助金)	1,025,900			
(うち他会計補助・負担金)	676,472			
(うち長期前受金戻入)	55,000			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,986,756			
2 経常費用	9,973,177			
(1) 医業費用	9,640,392			
職員給与費	5,628,618	72.5	62.1	63.5
材料費	1,876,585	24.2	25.3	24.9
(うち薬品費)	989,693	12.7	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	834,192	10.7	11.4	11.8
減価償却費	613,119	7.9	9.5	10.0
経費	1,488,072	19.2	22.7	21.7
(うち委託料)	804,446	10.4	12.6	12.2
研究研修費	13,354			
資産減耗費	20,644			
(2) 医業外費用	332,785			
(うち支払利息)	6,289	0.1	1.3	1.4
(3) 特別損失	13,579			
損益				
経常損益	-397,360			
純損益	-410,939			
累積欠損金	12,161,828			
経常収支比率	96.0		101.9	101.7
医業収支比率	80.5		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	7.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.8		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	7.2		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	89.1		89.3	90.0

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,325,541
1 固定資産	9,123,319
(1) 有形固定資産	9,087,509
(2) 無形固定資産	1,186
(3) 投資その他の資産	34,624
2 流動資産	2,202,222
(1) 現金及び預金	566,974
(2) 未収金及び未収収益	1,596,607
(3) 貸倒引当金( )	6,354
(4) 貯蔵品	44,995
3 繰延資産	-
負債合計	5,912,975
1 固定負債	3,827,053
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	417,782
(2) その他の企業債	402,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,300,000
(6) 引当金	1,641,552
(7) リース債務	65,719
2 流動負債	1,290,578
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	144,749
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	335,048
(6) リース債務	23,966
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	730,252
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	795,344
(1) 長期前受金	1,176,358
(2) 長期前受金収益化累計額( )	381,014
資本合計	5,412,566
1 資本金	16,162,929
2 剰余金	-10,750,363
(1) 資本金剰余金	1,406,465
(2) 利益剰余金	-12,156,828
負債・資本合計	11,325,541
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	248,464	685,616
資本勘定繰入	161,331	1,240
計	409,795	686,856

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	156.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				大阪府
市町村・組合名	柏原市			
病院名	市立柏原病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	18,350 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	200床以上~300床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	220	62.3	78.3	75.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	62.3	78.3	75.8
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	14.0	13.7

設立団体の状況		
人口(人)	68,775	
決算規模(千円)	35,364,921	
標準財政規模(千円)	15,354,211	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	94.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.1
	将来負担比率(%)	10.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.6
修正医業収益(千円)	3,599,552

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,573,990			
1 経常収益	5,561,762			
(1) 医業収益	3,701,861			
入院収益	2,522,530			
外来収益	891,493			
診療収入計	3,414,023			
その他医業収益	287,838			
(うち他会計負担金)	102,309			
(2) 医業外収益	1,859,901			
(うち国・都道府県補助金)	1,493,421			
(うち他会計補助・負担金)	170,790			
(うち長期前受金戻入)	104,251			
(うち資本費繰入収益)	72,906			
(3) 特別利益	12,228			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,781,879			
2 経常費用	4,781,879			
(1) 医業費用	4,522,318			
職員給与費	2,656,875	71.8	62.1	66.1
材料費	635,811	17.2	25.3	19.8
(うち薬品費)	317,596	8.6	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	289,072	7.8	11.4	9.3
減価償却費	281,734	7.6	9.5	10.2
経費	913,803	24.7	22.7	28.2
(うち委託料)	557,277	15.1	12.6	13.6
研究研修費	4,667			
資産減耗費	29,428			
(2) 医業外費用	259,561			
(うち支払利息)	73,272	2.0	1.3	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	779,883			
純損益	792,111			
累積欠損金	1,374,680			
経常収支比率	116.3		101.9	99.9
医業収支比率	81.9		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	4.9		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.4		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	4.9		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	110.6		89.3	86.6

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,089,175
1 固定資産	5,428,098
(1) 有形固定資産	5,305,730
(2) 無形固定資産	7,966
(3) 投資その他の資産	114,402
2 流動資産	1,661,077
(1) 現金及び預金	422,709
(2) 未収金及び未収収益	1,245,227
(3) 貸倒引当金( )	18,144
(4) 貯蔵品	11,285
3 繰延資産	-
負債合計	7,124,646
1 固定負債	4,271,210
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,438,840
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	832,370
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,850,516
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	370,930
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	152,995
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	800,000
(8) 未払金及び未払費用	509,835
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,002,920
(1) 長期前受金	6,439,290
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,436,370
資本合計	-35,471
1 資本金	1,207,261
2 剰余金	-1,242,732
(1) 資本金剰余金	131,948
(2) 利益剰余金	-1,374,680
負債・資本合計	7,089,175
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	35,471
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	296,220	273,099
資本勘定繰入	240,370	245,606
計	536,590	518,705

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	640,814	15.3
平成30年度	703,416	17.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				大阪府
市町村・組合名	藤井寺市			
病院名	市立藤井寺市民病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	5,423 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	9	指定病院の状況	臨	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	50床以上～100床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	98	53.2	70.6	80.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	53.2	70.6	80.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	11.0	10.6

設立団体の状況		
人口(人)	63,688	
決算規模(千円)	30,443,611	
標準財政規模(千円)	14,233,876	
財政力指数	0.62	
経常収支比率(%)	98.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.3
	将来負担比率(%)	71.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,351,975			
1 経常収益	2,340,245			
(1) 医業収益	1,922,928			
入院収益	846,700			
外来収益	1,008,332			
診療収入計	1,855,032			
その他医業収益	67,896			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	417,317			
(うち国・都道府県補助金)	305,606			
(うち他会計補助・負担金)	104,519			
(うち長期前受金戻入)	351			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11,730			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,328,509			
2 経常費用	2,328,509			
(1) 医業費用	2,229,060			
職員給与費	1,184,062	61.6	62.1	78.9
材料費	706,421	36.7	25.3	15.6
(うち薬品費)	593,989	30.9	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	99,072	5.2	11.4	6.0
減価償却費	116,704	6.1	9.5	11.7
経費	217,720	11.3	22.7	31.2
(うち委託料)	134,272	7.0	12.6	14.3
研究研修費	2,955			
資産減耗費	1,198			
(2) 医業外費用	99,449			
(うち支払利息)	12,181	0.6	1.3	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	11,736			
純損益	23,466			
累積欠損金	2,216,398			
経常収支比率	100.5		101.9	100.3
医業収支比率	86.3		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.5		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	5.4		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	4.4		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	96.0		89.3	76.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,545,913
1 固定資産	1,298,098
(1) 有形固定資産	1,297,394
(2) 無形固定資産	166
(3) 投資その他の資産	538
2 流動資産	1,247,815
(1) 現金及び預金	894,654
(2) 未収金及び未収収益	337,325
(3) 貸倒引当金( )	2,221
(4) 貯蔵品	18,055
3 繰延資産	-
負債合計	1,987,039
1 固定負債	1,449,192
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	742,781
(2) その他の企業債	192,900
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	513,511
(7) リース債務	-
2 流動負債	451,605
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,937
(2) その他の企業債	7,100
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	100,521
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	241,047
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	86,242
(1) 長期前受金	98,403
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,161
資本合計	558,874
1 資本金	2,713,544
2 剰余金	-2,154,670
(1) 資本金剰余金	61,728
(2) 利益剰余金	-2,216,398
負債・資本合計	2,545,913
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.3
修正医業収益(千円)	1,922,928

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	96,882	104,519
資本勘定繰入	37,243	103,243
計	134,125	207,762

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	115.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	東大阪市				
病院名	総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	493,940	
決算規模(千円)	256,074,412	
標準財政規模(千円)	111,085,282	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	96.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	162,167			
1 経常収益	162,167			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	162,167			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	162,167			
2 経常費用	162,167			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	162,167			
(うち支払利息)	162,167	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	阪南市				
病院名	阪南市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,965 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	185	76.1	77.6	71.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	185	76.1	77.6	71.2
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	14.5	14.4

設立団体の状況		
人口(人)	51,254	
決算規模(千円)	24,689,834	
標準財政規模(千円)	11,314,527	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	95.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	59.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	340,512			
1 経常収益	340,512			
(1) 医業収益	8,955			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	8,955			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	331,557			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	237,754			
(うち長期前受金戻入)	4,829			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	366,340			
2 経常費用	366,340			
(1) 医業費用	325,638			
職員給与費	-	-	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	95,128	1062.3	9.5	10.7
経費	229,200	2559.5	22.7	29.2
(うち委託料)	11,304	126.2	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	1,310			
(2) 医業外費用	40,702			
(うち支払利息)	37,056	413.8	1.3	1.5
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-25,828			
純損益	-25,828			
累積欠損金	4,082,339			
経常収支比率	92.9		101.9	100.3
医業収支比率	2.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	69.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	2655.0		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	69.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	28.0		89.3	84.8

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,534,955
1 固定資産	2,357,710
(1) 有形固定資産	2,355,977
(2) 無形固定資産	1,733
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	177,245
(1) 現金及び預金	176,139
(2) 未収金及び未収収益	1,106
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,544,135
1 固定負債	2,333,617
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,333,617
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	119,583
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	114,258
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,325
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	90,935
(1) 長期前受金	322,679
(2) 長期前受金収益化累計額( )	231,744
資本合計	-9,180
1 資本金	2,806,773
2 剰余金	-2,815,953
(1) 資本金剰余金	1,266,386
(2) 利益剰余金	-4,082,339
負債・資本合計	2,534,955
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	9,180
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.7
修正医業収益(千円)	8,955

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	53,929	237,754
資本勘定繰入	45,899	45,899
計	99,828	283,653

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45587.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。